

2023年6月28日
日本原子力研究開発機構

高速増殖原型炉もんじゅの冷却告示指定後の 原子力事業者防災業務計画の修正に向けた対応について

高速増殖原型炉もんじゅは、平成30年3月28日に廃止措置計画の認可を受けた後、炉心に370体及び炉外燃料貯蔵槽に160体貯蔵されていた燃料体を令和4年10月に燃料池に移送する作業を完了した。

また、原子力事業者防災業務計画についても、全ての燃料体が原子炉から取り出され、燃料池に貯蔵されたことから、原子力災害対策指針に定める施設区分の変更に伴う緊急時活動レベルの修正を令和4年12月9日に行った。

今後、照射済燃料集合体が十分な期間にわたり冷却された原子炉の運転等のための施設を定める告示を受けて、緊急事態を判断する施設区分を変更し、原子力事業者防災業務計画への反映方針について説明を行う。

以上